



# 未就学児向け救急ガイドブック

## 救急要請マニュアル

にかほ市消防本部  
令和7年12月

## はじめに

にかほ市には、保育事業所として私立認可保育所が4園と幼保連携型認定こども園が4園の計8施設（R7. 4現在）があり、約538名（R7. 3. 31時点）の未就学児が生活しています。

「子どもは地域の宝」という言葉があるように、子どもの成長に関わるのは家族・家庭だけではなく。地域全体で子どもの成長をサポートすることが大切であり、その枠組みの中において、子どもたちが多くの時間を過ごす乳幼児施設で働く皆様が果たされる役割は非常に大きいと言えます。

にかほ市消防本部管内では、乳幼児の転倒等によるケガ、誤飲・誤食などの事故や急病等による救急搬送が救急件数全体の2%前後とごくわずかではありますが、そのなかで命に関わる重大な事故も発生しています。

このマニュアルは、日常的に乳幼児の保育や教育に携わる事業所の皆様がいざというときに円滑に対応できるように作成したものです。

ご一読いただき、業務の一助になれば幸いです。

## 目次

- 1 救急対応フローチャート・・・・・・・・・・P1
- 2 緊急を要する様々な症状・・・・・・・・・・P2
- 3 救急隊からのお願い・・・・・・・・・・P3
- 4 心肺蘇生法・・・・・・・・・・P4~7
- 5 異物除去・・・・・・・・・・P8~9
- 6 熱中症・・・・・・・・・・P10
- 7 熱性痙攣・・・・・・・・・・P11

# I 救急対応フローチャート(心肺停止Ver.)

事案発生

- 発生場所に多くの職員を集める。
- その職員で役割を決める。
  - ・119番通報をする
  - ・心肺蘇生法の実施
  - ・AEDを取りに行く
  - ・救急隊を誘導する

反応の確認

- 呼びかけて反応を確認。  
肩口を叩いて呼びかけても反応がない、もしくは判断に迷うときは直ちに119番通報をお願いします。

119番通報  
AEDの準備

- 場所(施設名、住所)
- 救急要請の概要
- 傷病者の状態
- 実施している処置



呼吸は正常?

- 普段通りの呼吸ですか?  
呼吸がない、もしくはわからない場合は胸骨圧迫を実施してください。

心肺蘇生法

P4~P7参照。

AEDの装着



救急隊へ引き継ぎ

- 状況の説明

## 2 緊急を要する様々な症状

- 急に意識がなくなったり、急に状態が悪くなったりした時など、  
緊急を要する症状が現れている場合は、迷わずに救急車を要請してください。

こんなときにはすぐに**119番!!**

こども（15歳以下）

顔

- くちびろの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

手・足

- 手足が硬直している

意識の障害

- 意識がない（返事がない）  
またはおかしい（もうろうとしている）

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

生まれて3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

◎ その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合



### 3 救急隊からのお願い

#### ○救急隊現場到着後の対応

- ・救急隊（消防隊）が到着したら誘導をお願いします。玄関など入り口を開錠していただくとともに、救急隊（消防隊）を傷病者の居場所まで誘導してください。

- ・救急活動中は、子どもたちを救急車等に近づけないようご協力をお願いします。



## 4 心肺蘇生法

### ①反応の確認

呼びかけたり、肩口を叩いたりして  
反応があるか確認します。

反応がなければ、

すぐに周りの人を呼んでください！



※乳児の場合は足の裏を叩いてもOK



### ②119番通報・AEDの依頼

相手をしっかり指して、  
119番通報・AEDの依頼をします。

「意識がない」ことを  
しっかり伝えましょう。



### ③呼吸の確認

胸やお腹に動きがあるかを、

10秒以内で観察します。

呼吸がない（わからない）と判断したら  
直ちに胸骨圧迫へ移ります。





#### ④胸骨圧迫 幼児 1歳～6歳(未就学児)

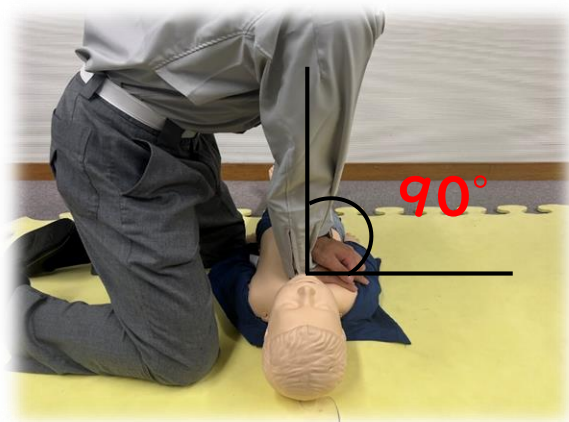
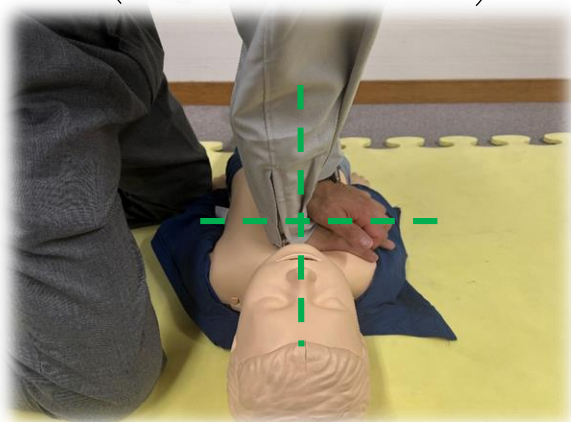
##### point

- ・胸骨の下半分に手のひらの付け根を置く。
- ・他方の手を重ね、肘をまっすぐ伸ばす。
- ・深さ：胸の厚さの約  $1/3$  沈む程度。
- ・リズム：100回～120回/分
- ・胸が元の位置まで戻るよう圧迫を緩める。(圧迫解除)
- ・胸骨圧迫30回、人工呼吸2回を繰り返す。

※両手で $1/3$ より押ししてしまう場合には、片手のみでもOK

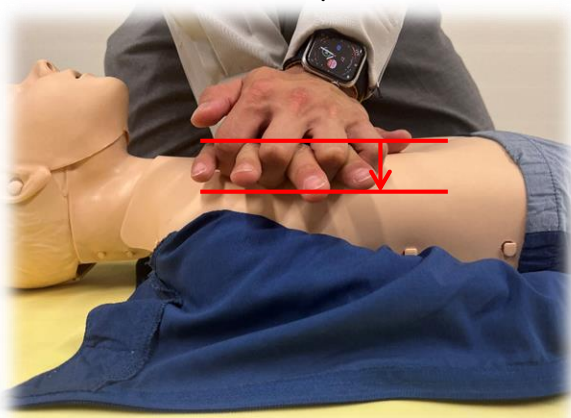
胸骨の下半分  
(乳首と乳首を結んだ横線  
顎とおへそを結んだ縦線)

肘はまっすぐ垂直に！

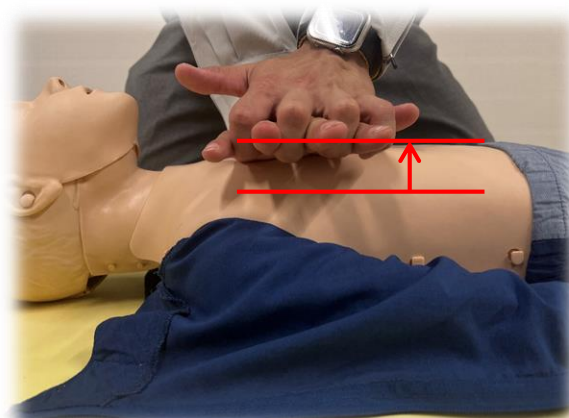


**強く！速く！絶え間なく！**

胸の厚さの $1/3$ 圧迫！



元の位置まで戻す！





#### ④胸骨圧迫 乳児 0歳～1歳未満

##### point

- ・ 一人で行う場合は、胸骨の下半分を中指と薬指で圧迫する。（2本指法）
- ・ 二人で行う場合は、胸骨の下半分を両母指で圧迫する。（胸郭包み込み法）



- ・ 深さ：胸の厚さの約1/3 沈む程度。
- ・ リズム：100回～120回/分
- ・ 胸が元の位置まで戻るよう圧迫を緩める。（圧迫解除）
- ・ 1人法：胸骨圧迫30回、人工呼吸2回を繰り返す。  
（2人法の場合は胸骨圧迫15回、人工呼吸2回を繰り返します。）

まっすぐ垂直に！



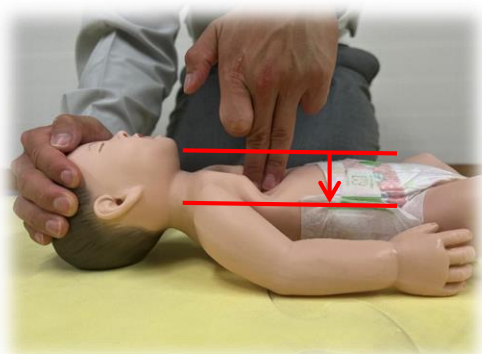
胸骨の下半分



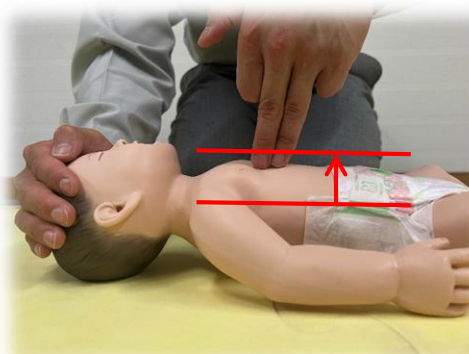
乳首と乳首の真ん中に人差し指を合わせ、その横に中指と薬指を置きその2指で圧迫する。

**強く！速く！絶え間なく！**

胸の厚さの1/3圧迫！



元の位置まで戻す！



## ⑤人工呼吸

小児の心肺停止は呼吸が止まることによる**低酸素が原因のことが多く**、人工呼吸の手技も重要です。

### point

- ・写真のように、頭を後ろにのけぞらせ、顎先を上げます。（**気道確保**）
- ・鼻をつまみ、胸が少し上がる程度の空気を**1秒間**吹き込みます。（これを**2回**行ないます。）



### point

- ・新生児の場合は、口と鼻の両方を覆うように人工呼吸をします。
- ・吹き込みは**1秒間**。（これを**2回**行ないます。）



- ※ ・吹き込みは、入っても入らなくても**2回まで**！
- ・胸骨圧迫中断時間が**10秒以上にならないように**しましょう！

- ※
  - ①顔面や口から出血している場合
  - ②人工呼吸がためらわれる場合→**胸骨圧迫のみの心肺蘇生**を行います。  
（写真のような感染防止用シート等を持って  
いると役立ちます。）



心肺蘇生法を実施することで、救命率は**約2倍**になります。

# 勇気をもって実施してください！

## 5 異物除去

### 一乳児一

#### 背部叩打法



▶ 乳児をうつぶせにし、アゴを自分の手のひらに乗せる

▶ 乳児の頭は体よりも低い姿勢に！

▶ 手のひらの付け根で背中を力強く叩く！

異物を取り除けるか、  
反応がなくなるまで  
繰り返します。

▶ 乳児を仰向けにし、背中を自分の片腕に乗せる

▶ 手のひら全体で乳児の後頭部を  
しっかり支える！

▶ 胸の真ん中（胸骨の下半分）  
を指2本で力強く押す！

#### 胸部突き上げ法



！ 幼児にはできません！

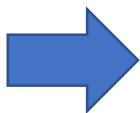


・反応がなくなった場合には、心肺蘇生法の手順に移ります



## 一幼児一

### 背部叩打法



### POINT

- ・手のひらの付け根で肩甲骨の間を力強く連続してたたく！
- ・反応がなくなった場合には、心肺蘇生法の手順に移ります。

※掃除機などで異物を吸い出すのは、異物を奥に押し込んでしまう可能性があるためやめましょう。

※ トイレtp>ーパーの芯を通過する大きさの物は窒息の危険になります。（目安）

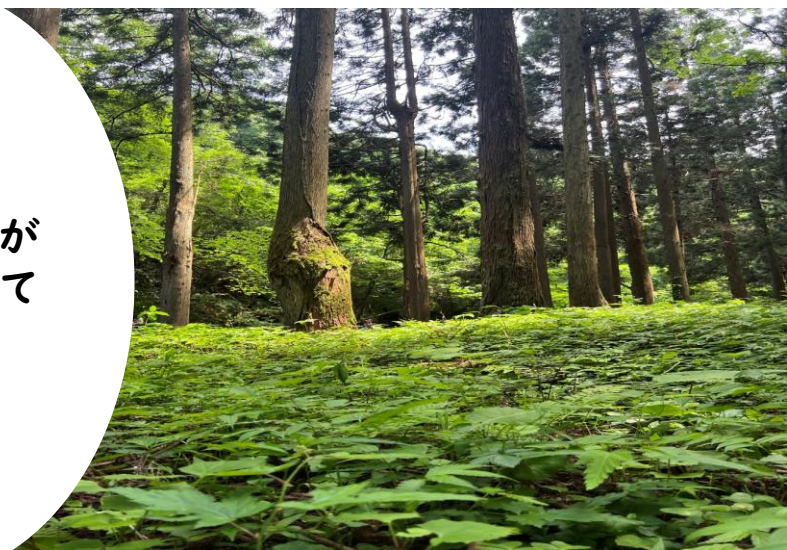




## 6 熱中症

### ①涼しい環境に移動させる

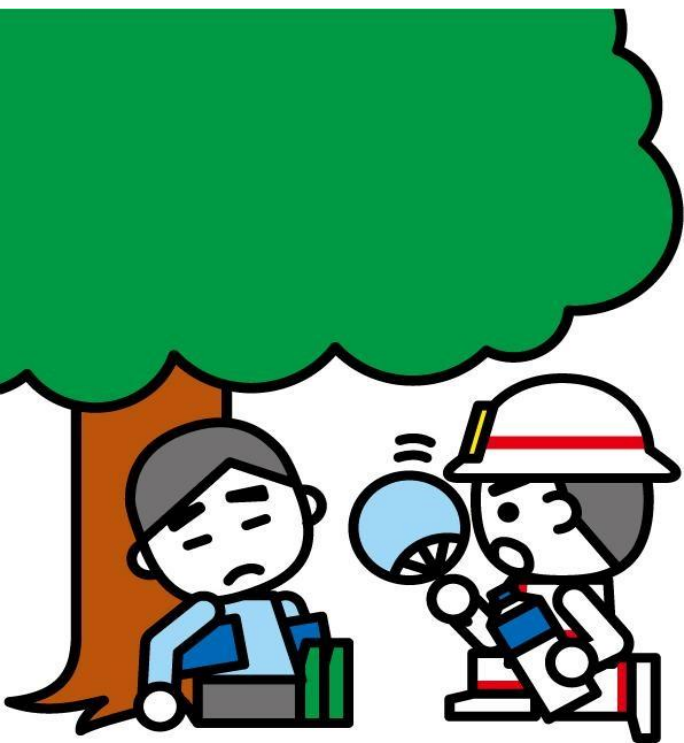
- ・風通しのよい日陰や冷房が効いている室内などが適している。



### ②衣服を脱がせ、体を冷やす

- ・氷枕や保冷剤で両側の首筋やわき、足の付け根などを冷やす。

- ・皮膚に霧吹きなどで水をかけ、うちわや扇子などであおぐことで体を冷やす。



### POINT

- ・傷病者は汗をかいて脱水状態になっているので、十分に水分を取らせることが重要です。

水分は、経口補水液やスポーツドリンクがおすすめです。

※意識状態が悪い場合には、無理に飲ませる必要はありません。  
誤飲の原因になる可能性があります。

## 7 熱性痙攣

→ 一般的に、38℃以上の発熱に伴い発症する痙攣。  
1～5歳の間（特に2～3歳）に多く見られます。

主な症状は？



### POINT

- ・嘔吐で窒息しないよう、体を横向きにしましょう。  
（口にもものを入れたり、体を大きく揺るのは控える）
- ・痙攣の持続時間を把握しましょう。  
（多くの場合、5分以内で自然に消失する）
- ・慌てずに痙攣の様子を観察してください。  
（ガクガク？ 突っ張ってる？ 左右差は？）

☆動画を撮ると、医師に伝わりやすいです。



※子供たちのために、落ち着いて対応しましょう！

## にかほ市消防本部

〒018-0311 にかほ市金浦字館ヶ森152

TEL 0184-38-2310

Mail [nisho-qq@city.nikaho.lg.jp](mailto:nisho-qq@city.nikaho.lg.jp)

119番通報例(動画)



心肺蘇生法(動画)



異物除去(動画)

